

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.27(2025. 3月)

社会科同好会編⑱ 「韓国出身の教育実習生さんと意見交換会」

2025年2月18日の昼休み、3月11日の放課後と、2回にわたって、韓国出身の教育実習生(大学院)の方を囲んで、社会や政治について話し合う会を開きました。じつは1度目の昼食会は雑談になってしまったので、リベンジとして2度目のトーク会を設けました。2年生の各クラスで1回ずつ、韓国の戦後史に関する特別授業をしてもらっていたので、同好会メンバーからの質問を事前にとりまとめて実習生に送り、回答を用意してきてもらう、という形式にしました。なかなか、「授業で抱いた疑問を質問してみよう！」と言っても、難しいものですね。一方、政治の話題を学校でも話すことが多いという韓国には「意識が高い」(ネガティブな意味合いでの)という表現は「たぶんない」とのことで、雰囲気の違いを感じました。ご実家のお母様手作りのキムチの味見もあり、思い出に残る会になったと思います。



以下、参加者が教育実習生の「特別授業」をもとに考えた「感想と質問」を紹介します。

◆授業を受けて韓国の政治について興味が湧きました。日本は投票率が少ないので、韓国人のようにもっと政治に関心を持つべきだと思いました。

質問です。

- 1.韓国は政治で対立してるイメージがあるけど、学生間ではどうなの？
- 2.韓国の学生はどんな内容の政治の授業を受けているの？
- 3.もし尹大統領が辞任することになったら韓国の政治はどう変わる？
- 4.野党はなんでマスメディアを支配できたの？

◆今までは日本史などでしか、戦争についての日本の歩みを知る機会がなかったが、慰安婦問題の話などをきいて日本がどういう国なのかを知ることができた。これから世界のことを学ぶとき、一つの軸だけでなく複数の軸を持つことが大切だと思った。

質問

日本人が政治に興味がなくなってしまった原因として、安保闘争の国民が動いても何も変わらないという意識が根付いていることがあると思うが、韓国は国民が制圧されたとしても政治に対し関与をやめなかった原因として挙げられるものを教えていただきたいです。

◆同好会で行った韓国料理を作りながら日韓関係について話し合ったのとは別に、授業では韓国の歴史から見る民主主義について詳しく、わかりやすく学ぶことができてよかったです。

韓国の政治は国民が大きく参加しているイメージがあったけれど、この授業を受けて、国民が主体的となって政治が行われている理由がよくわかりました。

◆戒厳令が韓国で出ていることは知っていたけど、なんでそれがされてるのかそれにどんな効果があるのかを知らなかったのが、今回韓国の先生の授業が受けられて良かった。

◆韓国がどうして政治家交代が激しいか、国民がどうして政治に関心があるのかを分かりやすく説明してくれて、自分の中にあった「どうして？」が解消されていった。質問としては、今後日本国民、中でも日本の若者が政治に興味、関心を持つにはどういう事をしていくべきかのジャンさんの考えが知りたい。

◆とても楽しい授業でした。日本と韓国は船で渡れるくらい近い距離にあるのに、そこに住む人達の国民性であったり、政治には大きな違いがあることが分かりました。そして韓国の政治には北朝鮮や私たちが住む日本、その他に様々な国が関わっていることもわかりました。海を挟んでいるとはいえ、隣国としての意識を持って生活していきたいと思いました。

◆授業はとても迫力があってまた実際の韓国の方の授業だったので韓国の状況がどう言うものかイメージしながら受けることができました。とても楽しかったです。

◆授業でももらった開発独裁の話は高良先生の授業で行った、銃剣とブルドーザーの話と似ていると思いました。様々な国の若者と政治の関連について聞くと、学校などで小さいうちから主権者教育を行ったりすることで政治に関心を持てるようになるのではないかと思ったのですが韓国と日本で学校の教育と政治の絡ませ方が違う部分がありますか？また、兵役制度があることについてどう思うか。や、兵役制度を無くそうとしている政治家はいないのかなどが聞いてみたいです。

◆日本も民主主義だが、日本であれほどの大きなデモが行われることは滅多にないし、なぜ政府に反対するのかと避難する声上がる。私自身大声で主張しながら歩き回っている人々を少し怖いと思ってしまう。しかし本来、民主主義とは国民が作っていくものであるため、政府の言うことを大人しく聞き、逆らってはいけないようであれば、それこそ以前の韓国のような独裁政治になってしまうのだなと気付かされた。

◆授業はとても興味深い内容でした。社会的なことに興味を持っているような人には特に面白く感じたと思います。

◆日本の歴史は小学校からよく勉強していたのでまあまあ知っていたけど韓国の歴史については一切知らなかったのが、独裁国家だったことすら初めて知りました。また、たまに聞く不断の努力という言葉は韓国に住んでいる多くの国民の人にこそよく合っていると思いました。これからも民主主義国家であり続けるために韓国に住む国民の方々には頑張ってもらいたいと思いました。

◆日本では若者の政治離れとか言われてるけど韓国のデモの様子とかを見た時にペンライトを持って人がいて韓国では若い人も政治に参加しているんだって思ったけど戒厳令とかが出る前から若い人も政治に参加していたのか気になる。

YouTube で見たのであってるかわからないけどイジェミョンさんも裁判中って見てユンソンニョルさんも戒厳令だしちゃって誰かが大統領をしなきゃいけないのはわかるけどこういう人を大統領にするのはいいのか。

◆韓国では大統領が逮捕されることが珍しくない、また、与野党の政権交代もあると聞き、日本の政治との違いを感じました。今回、ユン大統領が逮捕された理由は、不必要な戒厳令を発令したからだと思いますが、なぜそのような方法で野党を抑えようとしたのか理解できません。日本だけでなく、他国の政治について詳しく知りたいと感じました。

⇒このトーク会での「モヤモヤ」した感覚が、3月20日「Teens' Peace Talk ～中高生もやもやDiscussion～」@正則高校、における、鷺宮高校社会科同好会の分科会のテーマ『政治の話ができない若者たち～韓国との温度差はなぜ？～』につながりました。韓国在住の教育関係の方に問い合わせをしたり、本校図書館の『学校誌』や『足跡』バックナンバーを読んで「昔の高校生の政治への関心」を調べたり、校内で意識調査アンケート(匿名)を集めたり…ユニークな発表が出来たと思います。